2015年10月にドイツワーキングホリデーＶＩＳＡを取得し渡独されたＴさんが、念願であったパン屋勤務で実力を認められ、その後は研修ＶＩＳＡに切り替え活躍しておられる姿をインタビューしました！



Ｔさんプロフィール

30代　女性

日本でパン屋勤務経験有

ドイツのＢioパン屋で働いてみたい！

1. **渡独してから学校への通学期間は？**

Ｑ．4か月間語学学校(IIK)へ。以降は独学とタンデムパートナやドイツ人の友達との会話で習得。

**Ａ．取得語学レベルは？**

Ｑ．基礎会話程度（Ａ1-Ａ2）

**Ａ．パン屋でのアルバイト探しやその経験などを教えて！**

Ｑ．ドイツ企業へメールで実習を申込み、即面接、実習受け入れの流れ。私の場合運良く1件目で採用してもらえたので仕事探しはスムーズでした。他のパン屋で働く外国人に話を聞くと、2年近く仕事先を探していたという人が多かったです。就職難なのでドイツ人でさえトレーニング先を探すのに苦労している中、私はラッキーでした。

**Ａ．パン屋以外でのアルバイトは？**

Ｑ．渡独してからすぐに日本のパン屋で8ヶ月。ドイツ企業の飲食店にて4か月。

**Ａ．ドイツと日本のパン屋の違いは？**

日本のパンとは違い、ドイツでは朝・夜の「食事パン」が主です。製造過程もパンのこね方、成形ももちろん日本とは異なりますしパンの種類も豊富です。日本でいうケーキ屋のように、季節ごとにイベント用のパンが登場します。パン屋の繁忙期はクリスマス前、カーニバル時期と思います。私の場合、研修生としての法律が適用されますが通常のドイツ企業と違ってパン屋は残業も多くほぼ夜勤です。それに加えて週2日は学校へ通うのでかなりハードな生活になります。また、店によって異なりますが通常は夜中に出勤するので交通の便は大事です。又、シェフと相性や勤務時間帯が合わないなどの理由で仕事先を変更する人も多くいます。私のパン屋には40人近くの職人がいますが、ほぼ地元から通勤している人ばかりです。

**Ａ．ワーホリＶＩＳＡから職業訓練ＶＩＳＡへの切り替えはどうやって？**

Ｑ．日本企業への就職でない限り、全ての手続きは自分自身で行います。私の場合は就労許可、滞在許可、助成金申請、補習校の登録、職業学校の手続き、運転免許の申請をほぼ同時に行いました。自分が申請できる手続きを探すところから書類集めなどかなり大変でしたし時間もかかりました。申請から許可証を受け取るまで長いもので3ヵ月近く要します。

**Ａ．どんな方との交流が自分を助けてくれた？**

Ｑ．役所の手続きは外国人にとって容易ではありません。1年間を通して知り合ったドイツ人の友人がサポートしてくれたおかげで今に至ります。時には通訳をお願いしたりすることもありました。

**Ａ．アパート探しから契約、生活で困ったことは？**

Ｑ．日本人サイトおよびドイツのＷＧサイトから応募して内覧。私の場合は3件内覧しすぐに契約。ドイツ語が話せない（英語のみなど）と、10件メールしても返信がないこともありネットでの部屋探しは難航します。いずれにせよ日本人をルームメイトとして受け入れてくれる家は少ないのです。始めの4か月間は外国人9人とのシェア。後にドイツ人とのＷＧ。シェアハウスは人数が多いほどストレスは増えますがみんなで食事や宿題をしたり、賑やかな生活も楽しかったです。またドイツ人とのシェアは、思ったことをはっきり言ってくれるので共同生活にストレスはなかったです。

**Ａ．これから渡独される方へ、一言お願いします！**

Ｑ．突然思い立ち30代で会社を辞め、ドイツへ渡ったのがちょうど2015年秋。初めてのドイツ、海外生活、ＶＩＳＡ取得の手続き。全てが未経験でわからないことだらけでした。限られた時間の中でのＶＩＳＡ取得ということもあり、当時田原さんにはとても助けられました。また、渡独前の不安や不明点についてもサポートしていただけたことは何より心強かったです。

渡独してすぐに語学学校にてドイツ語を学び、半年近くアルバイトをしながらドイツ生活とヨーロッパ旅行を楽しんでいました。そして2016年夏、念願のＢｉｏパン屋での実習を経て雇ってもらうことができました。

正直、この1年間のここでの生活は決して楽なものではありませんでしたし、私のようにドイツ語がままならないと暮らしていくだけで一苦労でした。その上、手続きや学校、仕事となるとシステムも考え方も異なる為うまくいかないことや悔しい思いをすることも多々ありました。でもそれが、ドイツという国やドイツ人の考え方を知る為の良い経験になりました。同じように今まで当たり前だった日本の文化の素晴らしいところにも改めて気付きました。

そして初めての経験をする度に様々な人との出逢いや、親切な人に助けられたり。運か努力か、こんな私でもここまで乗り越えてくることができました。

私を受け入れてくれたパン屋のオーナーや仕事を与えてくれる同僚、助けてくれる友達も全て、この環境は自分で行動してきた結果だと思うと、明日の生活が楽しいかどうかも自分自身にかかっています。海外生活は自由な分、毎日が本当に大切で意味のあるものに思います。いまだからこそ気付けたこと、学ぶべきことも感謝すべきことも山ほどあります。

私のように将来について迷ったりチャレンジしてみたいけれど不安だと思っている方がいれば、まず一歩踏み出してみることをお勧めします。行動することで必ず何かが変わります。そして変化を前向きに楽しんでドイツでしか味わえない楽しみをたくさん知って欲しいです。

